

株主の皆様へ 第126期 中間報告書

証券コード 4113

2025年4月1日～2025年9月30日

環 境

暮らし

化 学

田岡化学工業株式会社

～有機合成で暮らしと環境にイノベーションを～

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。当社グループの2025年度中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）の業績の概況について、ご報告申しあげます。

さて、当期間の世界経済は、世界的な生成AI需要拡大に伴う活発な設備投資がけん引役となり、米国を中心に堅調に推移いたしました。一方で中国経済の減速や地政学リスク、米国政権による通商政策の不透明感など、依然として先行きに不確実性が残る状況が続いております。国内においても、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇と実質賃金の伸び悩みが家計の購買力を抑制しており、景気は「緩やかに回復している」との基調判断が維持されております。

このような状況のなか、当社グループの業績は農薬中間体などの出荷数量は減少しましたが、主に樹脂原料の出荷数量が増加したことにより、売上高は176億95百万円となり、前年中間連結会計期間（以下、「前年中間期」）に比べて26億33百万円の増加となりました。

損益面におきましては、主に樹脂原料の出荷数量の増加により、営業利益は14億6百万円（前年中間期比5億8百万円増）、経常利益は14億33百万円（同4億84百万円増）、親会社株主に帰属する中間純利益は10億52百万円（同4億13百万円増）となりました。

なお、当期の中間配当金は、当初予想のとおり、1株につき18円として実施させていただくこととしました。

当社グループは、2025年度より新中期経営計画「TCG as one 2027」を始動し、企業価値のさらなる向上に向けて全社一丸で取り組んでおります。重点施策として、有機合成技術を活かした新製品の開発、収益性の改善、プラント再編やDXによる生産・研究体制の強化を推進しています。

また、人的資本の充実を図り、社員の成長支援や働きやすい環境づくりに努めるとともに、生分解性・バイオマス可塑剤の開発やリサイクル技術の事業化など、環境対応にも積極的に取り組んでおります。

今後も、国内外の市場環境の変化に柔軟に対応しながら、中期経営計画の着実な遂行を通じて、持続的な成長の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

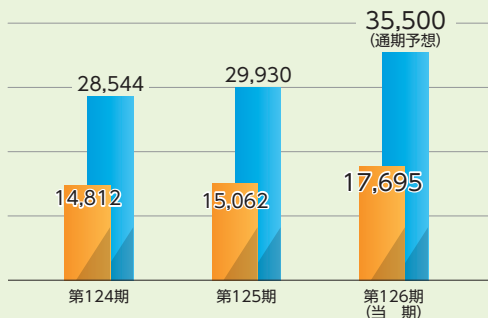


代表取締役社長 岩崎 明

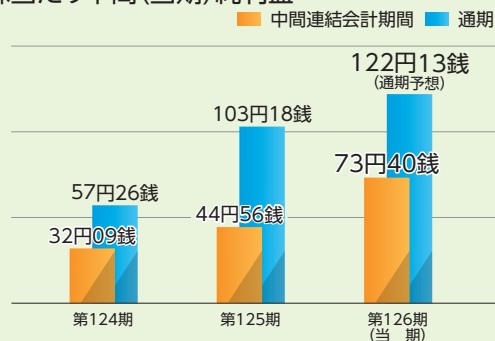
2025年11月

代表取締役社長 岩崎 明

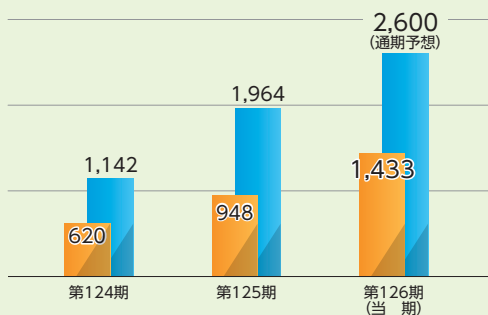
売上高 (百万円)



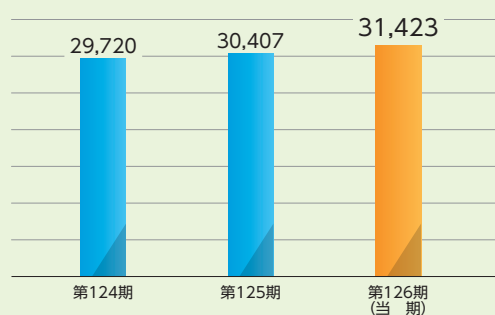
1株当たり中間(当期)純利益



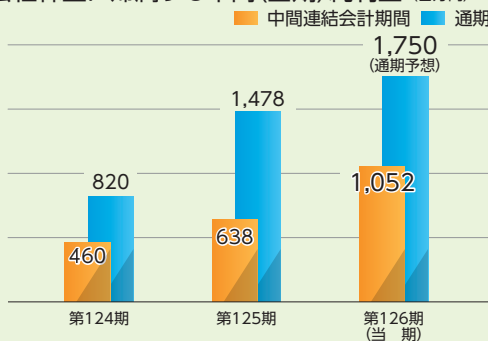
経常利益 (百万円)



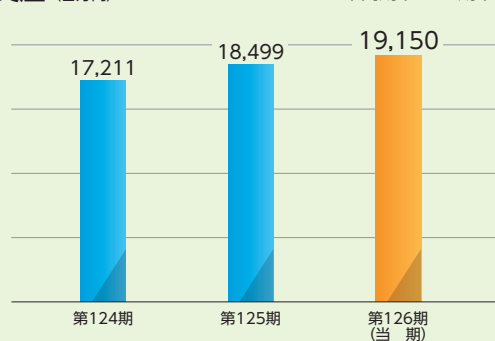
総資産 (百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



純資産 (百万円)

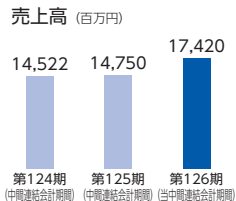


(金額の表示単位の変更について)

当社は従来、端数処理を千円未満切捨としておりましたが、第125期より百万円未満を四捨五入しております。当該変更に伴い、第124期についても百万円未満を四捨五入して表示しております。

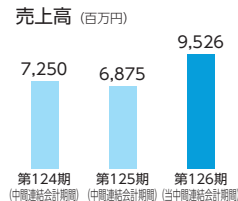
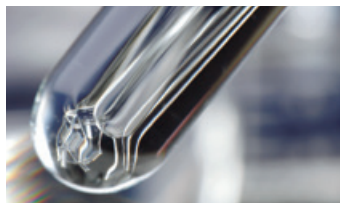
化学工業セグメント 売上高 174億20百万円

当セグメントの売上高は、174億20百万円となり、前中間連結会計期間と比べて26億71百万円の増収となりました。



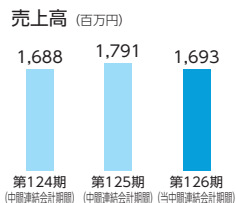
精密化学品事業 売上高 95億26百万円 医薬中間体、農薬中間体、電子材料、樹脂原料

農薬中間体の出荷数量は減少しましたが、樹脂原料の出荷数量の増加により、売上高は95億26百万円となり、前中間連結会計期間と比べて26億51百万円の増収となりました。



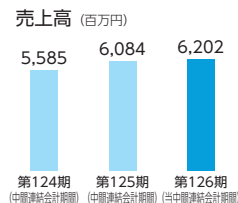
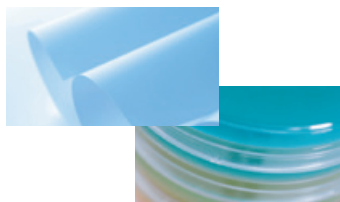
機能材事業 売上高 16億93百万円 接着剤、ゴム薬品

ゴム薬品の出荷数量の減少により、売上高は16億93百万円となり、前中間連結会計期間と比べて98百万円の減収となりました。



樹脂添加剤事業 売上高 62億2百万円 紙用加工樹脂、ワニス、可塑剤、その他工業薬品

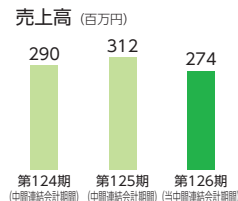
可塑剤の販売が増加したため、売上高は62億2百万円となり、前中間連結会計期間と比べて1億18百万円の増収となりました。



化学分析受託事業セグメント 売上高 2億74百万円

各種環境分析、一般化学品・工業材料分析等

当セグメントの売上高は、土壌分析や石綿分析などで減少したため、2億74百万円となり、前中間連結会計期間と比べて38百万円の減収となりました。



中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2025年3月31日現在)	当中間連結会計期間末 (2025年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	16,226	17,474
固定資産	14,181	13,948
有形固定資産	12,957	12,690
無形固定資産	40	32
投資その他の資産	1,185	1,226
資産合計	30,407	31,423
(負債の部)		
流動負債	8,282	8,984
固定負債	3,626	3,289
負債合計	11,908	12,273
(純資産の部)		
株主資本	18,215	18,951
その他の包括利益累計額	285	199
純資産合計	18,499	19,150
負債・純資産合計	30,407	31,423

■ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (2025年4月1日から 2025年9月30日まで)
売上高	15,062	17,695
売上原価	12,387	14,429
売上総利益	2,675	3,266
販売費及び一般管理費	1,778	1,860
営業利益	898	1,406
営業外収益	55	47
営業外費用	4	20
経常利益	948	1,433
特別損失	96	3
税金等調整前中間純利益	852	1,430
法人税等	214	378
親会社株主に帰属する中間純利益	638	1,052



ポイント解説

資産

流動資産は、前連結会計年度末と比べて12億48百万円増加し、174億74百万円となりました。商品及び製品は減少しましたが、売掛金や原材料及び貯蔵品が増加しました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて2億33百万円減少し、139億48百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産額は314億23百万円となり、前連結会計年度末と比べて10億15百万円増加となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末と比べて7億1百万円増加し、89億84百万円となりました。買掛金やその他に含まれる設備関係未払金が増加しました。

固定負債は、長期借入金の減少により、前連結会計年度末と比べて3億37百万円減少し、32億89百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて3億65百万円増加し、122億73百万円となりました。

純資産

当中間連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて6億50百万円増加し、191億50百万円となりました。

株式の状況

発行可能株式総数	24,000千株
発行済株式の総数	14,440千株
株主数	3,955名

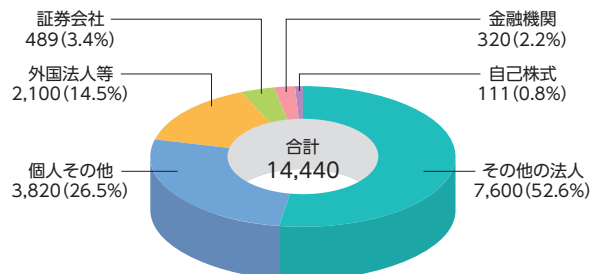
大株主

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	7,247千株	50.58%
MSIP CLIENT SECURITIES	527	3.68
WILL FIELD CAPITAL PTE.LTD.	257	1.80
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	193	1.34
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	180	1.26
CACEIS BANK / QUINTET LUXEMBOURG SUB AC / UCITS CUSTOMERS ACCOUNT	162	1.13
田岡従業員持株会	160	1.11
BNYM SA / NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	157	1.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	151	1.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	146	1.02

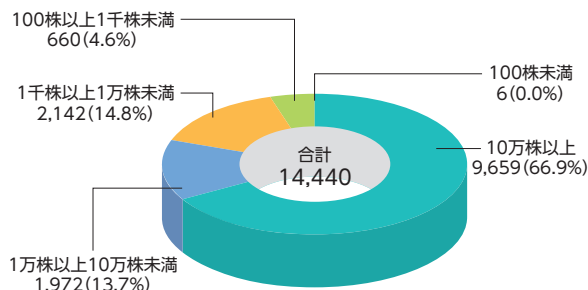
(注) 持株比率は自己株式(111,375株)を控除して計算しております。

株式の分布状況

所有者別状況 (単位: 千株)



所有株数別状況 (単位: 千株)



連結子会社

	会社名	所在地	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
国内	株式会社田岡化学分析センター	大阪市淀川区	百万円 30	% 100	各種環境分析等
海外	タオカ ケミカル インド プライベート リミテッド	インド共和国・チェンナイ市	百万インドルピー 200	% 100	瞬間接着剤の製造・販売等
海外	田岡化工材料(上海)有限公司	中華人民共和国・上海市	百万人民元 16.9	% 100	絶縁被覆材料、化学品原料・製品の輸出入、販売

■ 会社の概要

商 号 田岡化学工業株式会社
 設 立 1934年10月29日
 資 本 金 1,572百万円
 事 業 所 <本 社>
 大阪市淀川区新高3丁目9番14号
 (ピカソ三国ビル7階)
 <営業所>
 営業本部 (大阪市淀川区)
 営業本部東京支店 (東京都中央区)
 <工 場>
 淀川工場 (大阪市淀川区)
 播磨工場
 播磨地区 (兵庫県加古郡播磨町)
 愛媛地区 (愛媛県新居浜市)

従 業 員 数 450名 (単体、契約社員・嘱託・パート含む)

■ 役 員

代表取締役 社長	岩 崎 明
常 務 取 締 役	松 尾 俊 二
常 務 取 締 役	伊 美 勝 治
常 務 取 締 役	伊 瀬 基 之
取 締 役	岡 嶋 謙
取 締 役	福 田 加 奈 子
社 外 取 締 役	田 辺 陽
取締役 (監査等委員)	乾 禄 治
社外取締役 (監査等委員)	小 西 弘 之
社外取締役 (監査等委員)	藤 咲 雄 司
社外取締役 (監査等委員)	矢 倉 昌 子



TOPICS

【住化グループ Sumika Sustainable Solutions 認定】

当社が開発した「生分解性バイオマス可塑剤」がSumika Sustainable Solutionsの認定を受けました。本製品はバイオマス原料の使用に加え、生分解性を有することで、海洋プラスチック問題等の環境負荷の低減に寄与いたします。

当社は引き続き有機合成技術を基に、環境問題等の社会的課題の解決に繋がる製品の開発・普及に取り組んでまいります。

※Sumika Sustainable Solutions

環境問題の緩和や資源循環への貢献等の分野で貢献する住化グループの製品・技術を、住友化学の環境貢献製品等認定委員会にて“Sumika Sustainable Solutions”として認定し、新たな事業機会の獲得に向け、その開発や普及を促進する取組み



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) ☎0120-782-031 受付時間9:00~17:00(土日休日を除く)

(WEBサイト) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株主の皆さまの声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp/?accessKey=4113wFn1>

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」[☎ koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主名簿管理人にご照会ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(<https://www.taoka-chem.co.jp/>に掲載)(ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載)

なお、当社の貸借対照表ならびに損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)に開示しております。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

株式に関するマイナンバーお届出のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

●証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。

●証券会社とのお取引がない株主様
上記に記載の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

田岡化学工業株式会社

〒532-0033

大阪市淀川区新高3丁目9番14号(ピカソ三国ビル7階)

TEL 06-7639-7400 FAX 06-7639-7404

<https://www.taoka-chem.co.jp>

